

男子66kg級

準決勝戦第1試合

3 日置 悠貴

(和歌山柔栄会)

大外刈

3 青木 勇介

(パーク24)

ここまでオール一本勝で勝ち進んだ初出場の日置が、同じくオール一本勝で勝ち上がった新人青木から56秒、背負投から大外刈の連続技で一本勝を奪い、難なく決勝戦に駒を進める。

準決勝戦第2試合

3 浅野 大輔

(自衛隊体育学校)

反則負

3 荘司 和大

(フォーリフジャパン)

左組み同士の準決勝戦は、60kg級から階級を上げて出場した浅野がオール一本勝で駒を進めた。2分44秒、荘司が頭から畳に突っ伏す反則負により、浅野が決勝戦に進出。

決勝戦

3 日置 悠貴

(和歌山柔栄会)

大内刈

3 浅野 大輔

(自衛隊体育学校)

日置、右組み、浅野左のケンカ組手。日置は体落、小外刈、支釣込腰、大外刈。浅野が背負投、体落、足払で互いに技を繰り出す。次第に手数が減った日置に1分11秒、指導1。その後は両者の攻撃激しくなるが、中盤過ぎに攻撃の止んだ日置に3分10秒、指導2。その直後の3分18秒、リードされて挽回を期す日置が勢い込むその一瞬の隙を衝いて、浅野が身体を沈め、左大内刈に刈り込めば、これが見事に決まり一本。浅野、うれしい初優勝。